

つげ義春展「つげさんの『調布巡礼』（仮題）」について

【企画目的】

つげ義春氏は、令和2年（2020）年2月、欧州最大の漫画の祭典「第47回アングレーム国際漫画祭」で特別栄誉賞を受賞された漫画家である。

調布市立図書館では、「マンガ」を重要な文化としてとらえ、平成7（1995）年から本格的に収集を開始した。特に調布市ゆかりの作家については、関連資料も含め重点的に収集しており、つげ義春氏もその主要な作家の一人である。

つげ氏は長年調布市にお住まいで、調布を舞台に描かれた作品も多く存在する。また、調布をロケ地として映画化された作品もあり、「映画のまち調布」とも親和性の高い作家である。

今般、つげ氏に焦点を当てた展覧会を実施することは、日本初と言っても過言でなく、本展覧会の開催により、アングレーム国際漫画祭での受賞を祝すとともに、世界的漫画家であるつげ氏の偉大さを市内外に広く紹介する。合わせて、当館の多様なコレクションを初めて広く公開することで、図書館利用者の増加や利用層の拡大を図ることを目的とする。

【概要】

会期 令和5年1月5日（木）～22日（日）

会場 調布市文化会館たづくり2階北ギャラリー

主催 調布市、調布市教育委員会

共催 調布市文化・コミュニティ振興財団

協力 講談社ほか

入場料 無料

市報ちょうふ（令和4年4月5日号）掲載記事

市内在住の
漫画家
つげ義春氏が
日本芸術院会員に
就任



日本芸術院は、美術、文芸、音楽、演劇、舞踏の各分野において日本を代表する芸術家が会員として任命されている文化庁の機関です。

つげ氏は、代表作「ねじ式」をはじめ、さまざまな作品における文学的な表現が美術と文学の世界からも高く評価され、多くの芸術家に影響を与えてきました。欧州最大の漫画の祭典である「第47回アングレーム国際漫画祭（2020）」で特別栄誉賞を受賞するなど、海外からも高く評価されています。

調布市立図書館では、つげ氏の関連資料を多数収集しています。調布が舞台として描かれた作品に焦点を当てた展覧会を、令和5年1月に開催する予定です。
(中央図書館)